

まえがき

住みたくなるまち土器は「土器町まちづくり計画 2020」策定にあたり、まず「まちづくり計画 2015」の事業計画を総括しました。

次に、まちづくり計画に住民の声を反映させるため「まちづくりアンケート」を実施しました。アンケートは2019年3月～5月、どきっ子弥生ふるさとまつり会場の来場者、土器町の全自治会員、城東小学校PTA、城東幼稚園PTA及び青ノ山保育所保護者会（いずれも世帯単位）などを対象に1523件回収しました。

アンケートの結果、50%以上の回答者が60歳以上で土器町の高齢化はさらに進んでいること。一方、若い子育て世代は自治会加入率が低いことや小さな子どもたちの遊び場が少ないこと。そして、自治会加入促進のキーワードは「防災」、コミュニティ活動は広報紙「土器さんさん」や回覧版、ポスターが有効な情報源となっていることがよく分かりました。

2019年3月より「まちづくりワーキンググループ(WG)」のメンバーを選出し、まちづくり計画の事業計画を住民目線から評価してもらい、アンケート結果の分析をしました。また、同年10月にはWGより「まちづくり5ヶ年計画に関する提言」がありました。

結果、まちづくり計画策定には次のような問題点や課題が考えられました。

- 1 若い世代の自治会加入に向けた活動
- 2 高齢者への様々な支援
- 3 防災活動に対する取り組み
- 4 情報発信の仕組みづくり
- 5 コミュニティセンターの認知度向上
- 6 みんなが各種イベントに参画しやすい仕組みづくり

以上のことを踏まえて、策定に取り組みました。